

2024年12月4日

報道関係 各位

住友不動産建物サービス株式会社

さらなるお客様満足度向上に向け
住友不動産建物サービス 制服リニューアル
現場従業員の声に寄り添いお客様の暮らしを守る

住友不動産建物サービス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:三浦 桂介、以下当社)は、2024年12月16日(月)より従業員の新しいユニフォームの運用を順次開始することをお知らせします。

なお、従業員ユニフォームのリニューアルは約20年ぶりとなります。

当社は、2023年7月に創立50周年を迎えました。本プロジェクトは、50周年という節目を機に、会社としての在り方を見直す中で、現場で働く従業員の制服リニューアルに着手しました。

「20年近くデザインが変わらない」、「家での洗濯ができない」、「スカートだけでなく、パンツスタイルも選択肢に入れてほしい」、「そのまま出勤できる服がよい」といった、長らく見直しがなかった制服デザインの刷新を求める声や、近年の猛暑対策や労働環境の改善に貢献したいという思いの両面からデザインの検討を重ね、実際に着用する現場従業員との意見交換の末、制服を決定しました。

今回のリニューアルでは、制服を着用する人にとってのなじみやすさや着心地、扱いやすさに重きを置き、品位が感じられるような見た目にも配慮しました。



リニューアル後の制服(左からコンシェルジュ・マネージャー・管理員)

■リニューアルのポイント

<管理員>



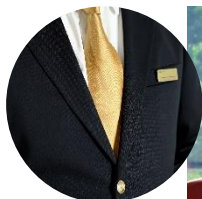
旧



新・ポケット(左上)

- 伸縮性、通気性、消臭機能を高め、作業性と着心地を改善。
- ズボンに巡回用の鍵を収納できるサイドポケットを設け、鍵の紛失リスクを低減。
- 作業道具用のポケットを配布し、巡回時にその場で作業に取り掛かれるよう改善。
- 社名の刻印を廃止し、通勤時にも着用可能に。
- フルネーム・顔写真付きのネームプレートから、苗字のみを記載するネームプレートに変更。

<マネージャー>



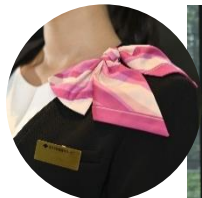
旧



新・ネクタイ(左上)

- 伸縮性を格段に高め、着心地を改善。
- 自宅で洗濯可能な生地を選定したことで、クリーニング不要となり社員の負担を軽減。
- 高い機能性を備えつつ、上品さを維持。
- ネクタイを会社支給のものに切り替え、品位と統一感のある印象に変更。
- フルネーム・顔写真付きのネームプレートから、苗字のみを記載するネームプレートに変更。

<コンシェルジュ>



旧



新(左:夏服、右:冬服)・スカーフ(左上)

- パンツスタイルを選択可能に。
- トップスに深いポケットを設け、数を増やし、鍵やペンなどを持ち運べるよう改善。
- スカーフは差し込み式に変更し、着用にかかる時間を短縮。物件ごとに色を選択し、統一感を持たせる。
- 自宅で洗濯可能な生地を選定したことで、クリーニング不要となり社員の負担を軽減。
- 夏場のエアコン対策として夏服を七分袖に。

■お客様の暮らしと資産を守る

当社は、1973年の創業以来、マンションの管理業務を中心に事業を展開しており、2024年10月末時点では約1800棟、約17万戸のマンションを管理しています。当社が管理をお受けするマンションにお住いの皆様に対して質の高いサービスとサポートを提供し、快適さを感じていただくことに注力しています。誰よりもそのマンションを熟知し、お客様に寄り添い、住みやすい環境を提供するという理念に沿った事業をこれからも展開してまいります。